新庄－１

平　成　１８　年　度

新庄河川事務所　事業概要

平　成　１８年　３月

国土交通省　東北地方整備局

新　庄　河　川　事　務　所

問い合わせ先

東北地方整備局　　新庄河川事務所

副所長(技術)　　小　松　寿

工務第一課長　　渋　谷　奨　（河 川 担 当）

工務第二課長　　三 原　金 吾（砂 防 担 当）

〒996-0071　新庄市小田島町５－５５　ＴＥＬ　０２３３－２２－０２５１

１．事務所事業概要

新庄河川事務所は、河川事業、砂防事業、地すべり対策事業を行っており、各事業の事業範囲は以下のとおりです。

河川事業は１級河川最上川本川60.0㎞、鮭川を含む６支川41.4㎞の計101.4㎞について整備並びに管理を実施しています。

砂防事業は最上川水系流域（立谷沢川、角川、銅山川、鮭川、寒河江川）1,061㎢ 及び赤川水系流域550㎢ で土砂災害防止を目的とした整備を担当しています。

地すべり対策事業は、豊牧地区5.9㎢ 、平根地区3.0㎢ で地すべり防止工事を実施しています。

２．平成１８年度事業概要

新庄河川事務所の平成１８年度予算は、河川事業関係と砂防事業関係とをあわせて全体で約６６億円です。

河川事業関係は約１７億円で、最上川河川整備計画（平成14年11月策定）を踏まえた**最上川中流改修事業**の継続促進、**大蔵村清水地区消流雪用水導入事業** で工事着手し、完成させる外、**大石田町横山地区消流雪用水導入事業**に新規着手します。

総合水系環境整備事業としては**新庄市本合海地区**で水辺プラザの整備を継続し、完成させます。また、既設の河川管理施設の維持管理等を実施します。

砂防事業関係は約４９億円で**最上川、赤川水系の砂防えん堤の建設**を継続促進すると共に、**地すべり対策事業**を継続実施します。

３．平成１８年度予算（費目別）

（当初予算）

費目		平成１８年度事業費（百万円）	平成１７年度事業費（百万円）	伸び率
河川	河川改修費	３７５	５１０	0.735
	消流雪用水	６２３	５７７	1.080
	総合水系環境整備	７５	１０１	0.743
	維持修繕	５７８	５４１	1.068
	応急対策	０	３０	－
砂防	砂防	４，３３５	４，５７３	0.948
	地すべり	６０３	７６３	0.790
小計		６，５８９	７，０９５	0.929
災害復旧		－	３７	－
合計		６，５８９	７，１３２	0.924

調査費を除く

４．主要事業概要

1）河川改修事業

○ **鶴の子地区**（新庄市鶴の子）は無堤のため、洪水のたびに地域の生活基盤である良好な農耕地が被害を受けており、**小堤整備事業**を**継続実施**します。

○ **鮭川村庭月地区**は、一部が無堤のため、平成１６年７月出水による洪水により、市街地が浸水被害を受けており、地域の安全で安心した暮らしを図るため**築堤整備**に**着手**します。

2）消流雪用水導入事業

○ 平成１７年度より克雪対策の一環として実施している**大蔵村清水地区消流雪用水導入事業**において、**工事**に**着手**し**事業を完成**させます。

○ 平成１８年度より克雪対策の一環として**大石田町横山地区消流雪用水導入事業**に**新規着手**します。

3）総合水系環境整備事業

○ **本合海地区**（新庄市本合海）は、「最上川流域観光交流空間づくりモデル事業」に選定され、地元の方々とともに自然、歴史文化及び地元食文化を満喫できる地域づくりをめざして**「良好な水辺空間」**の整備に取り組んでおり、その支援事業として、**「本合海地区水辺プラザ」の整備**を平成１７年度に引続き実施し、**完成**させます。

4）維持修繕事業

○ 堤防除草、河道内樹木の伐採、排水樋管の修繕など、**施設の維持管理**を行うほか、日常及び出水・地震時等において河川巡視を行い、河川管理施設等の**異常発見**と**被害防止**に努めます。

5）砂防事業

◎　最上川水系（事業箇所数：１６箇所）

○　立谷沢川流域濁沢、銅山川流域赤砂川等において大規模崩壊が発生しており、各流域からの大量の土砂流出を抑制し、流出土砂が起因する土砂災害から保全対象地区の**生命・財産を守る**ため立谷沢川、角川、銅山川、鮭川、寒河江川の５流域において、**濁沢第六砂防えん堤**をはじめとする**９箇所の砂防えん堤**を**促進**します。

　このうち、鮭川流域の**朴木沢第二砂防えん堤**など**２箇所の砂防えん堤**を**完成**させ、土砂災害防止に寄与します。

　また、下流域を土砂災害から守るため立谷沢川流域の**板敷川砂防えん堤**など**３箇所の砂防えん堤、護岸工**に**着手**します。

○　土石流危険渓流における砂防施設整備の促進として、立谷沢川流域の**工藤沢砂防えん堤群**など**２箇所の砂防えん堤**を**促進**し、このうち、鮭川流域の**ジコク沢砂防えん堤**を**完成**させます。

　また、寒河江川流域の**トノ沢砂防えん堤群**に**着手**し、地域防災に寄与します。

○　**多様な渓流環境の再生**を図るため**既設砂防えん堤のスリット化**を寒河江川流域の**大井沢第三砂防えん堤**において実施し、**完成**させます。

○　事業の実施にあたり、周辺環境への配慮・対応として貴重な鳥類等調査、スリットタイプの砂防えん堤工事の実施による環境影響調査を実施しながら事業を進めていきます。

○　立谷沢川、銅山川、鮭川、寒河江川流域等で土石流発生など流域内の状況等危機管理を踏まえた光ファイバーによる**情報基盤整備**を**促進**します。

◎　赤川水系（事業箇所数：３箇所）

○　流出土砂が起因する土砂災害から保全対象地区の**生命・財産を守る**ため赤川において、**岩菅沢砂防えん堤**をはじめとする**２箇所の砂防えん堤**を**促進**します。

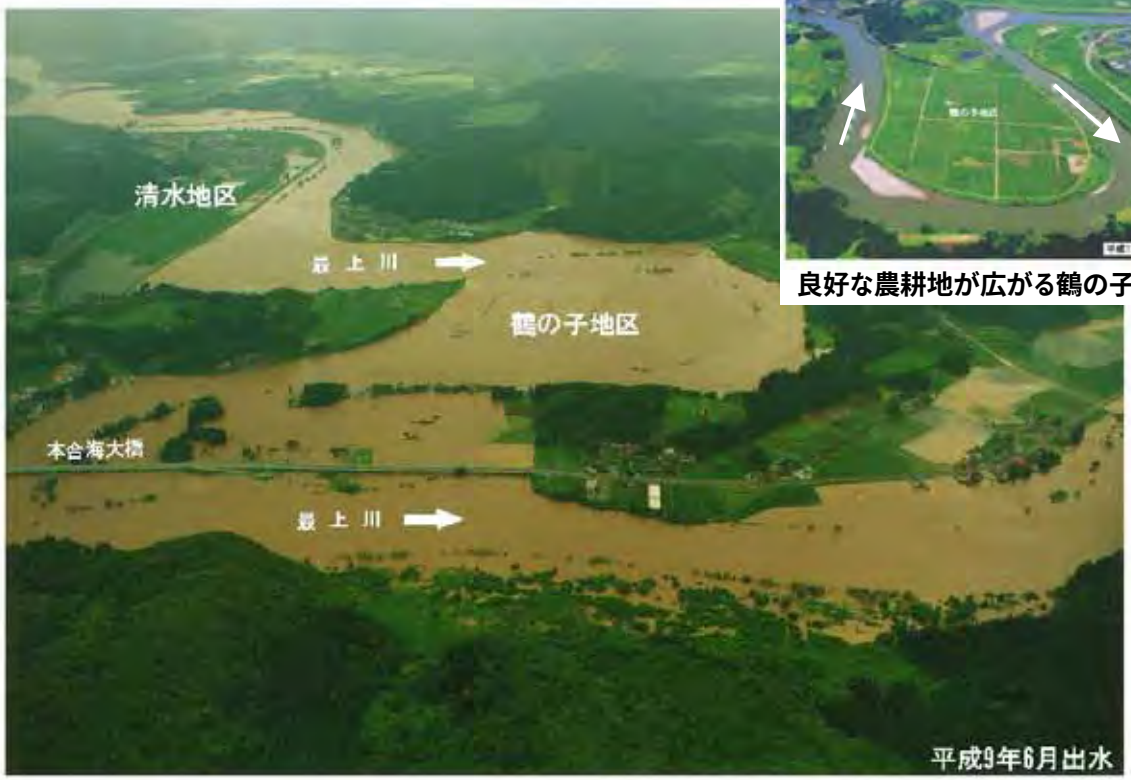
○　県道鶴岡村上線の改良との合併による**工事用道路工事**を**促進**します。

6）地すべり対策事業

○ **豊牧、平根地区**の２地区では地すべりの変状を抑制するため、地下水排除のための**集水井工**及び**排水路工**を**促進**し、地すべりの安定を図ります。

河川改修事業

新庄市鶴の子地区において、地域の生活基盤である良好な農耕地の浸水被害を防ぐため、小堤整備事業を継続実施します。

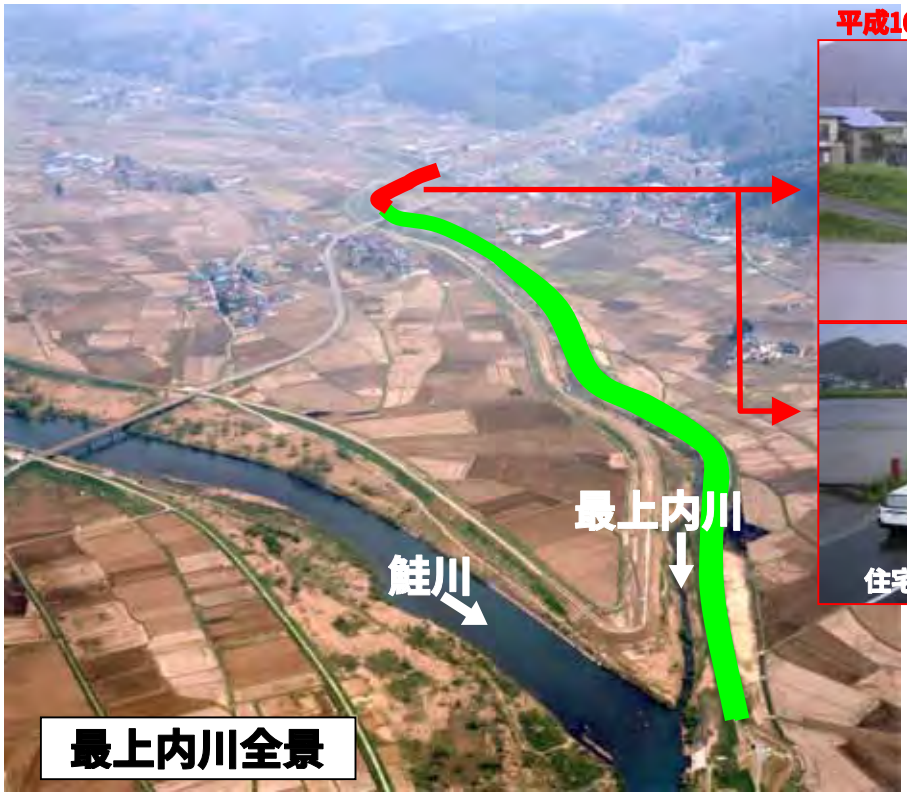


良好な農耕地が広がる鶴の子地区

無堤のため農耕地一面が泥海と化した鶴の子地区　　(新庄市鶴の子地区)

河川改修事業

鮭川村庭月地区において、無堤箇所からの浸水防止のため、築堤整備に着手します。



平成16年7月出水時最上内川



(鮭川村庭月地区)

消流雪用水導入事業

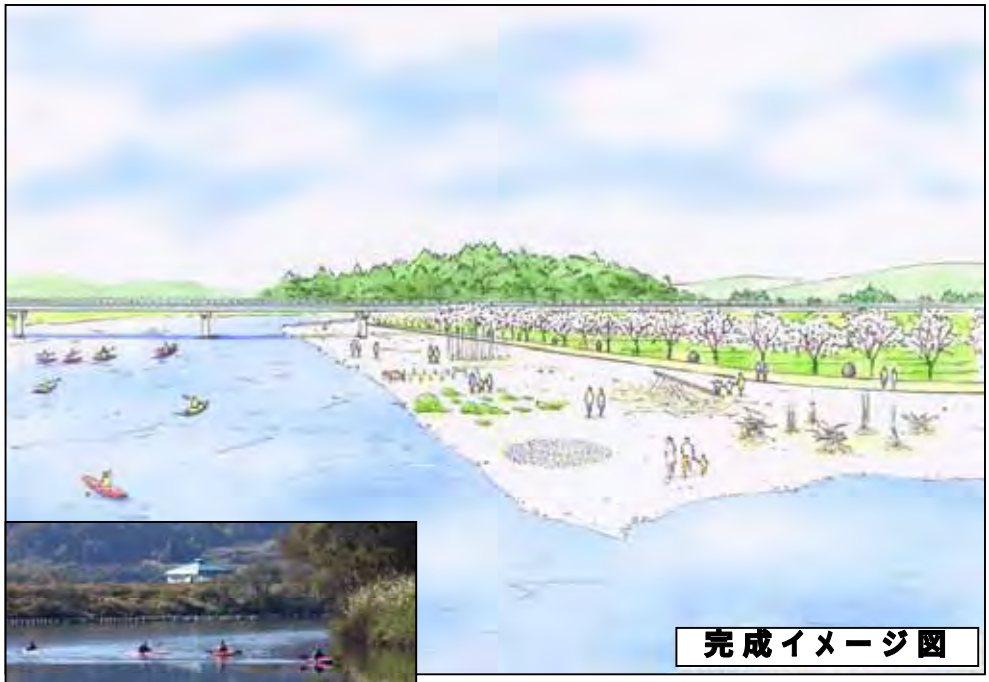
屈指の豪雪地帯である大蔵村清水地区において、消流雪用水導入事業の工事に着手します。





河川環境整備事業

新庄市本合海地区において水辺プラザの整備を継続実施します。





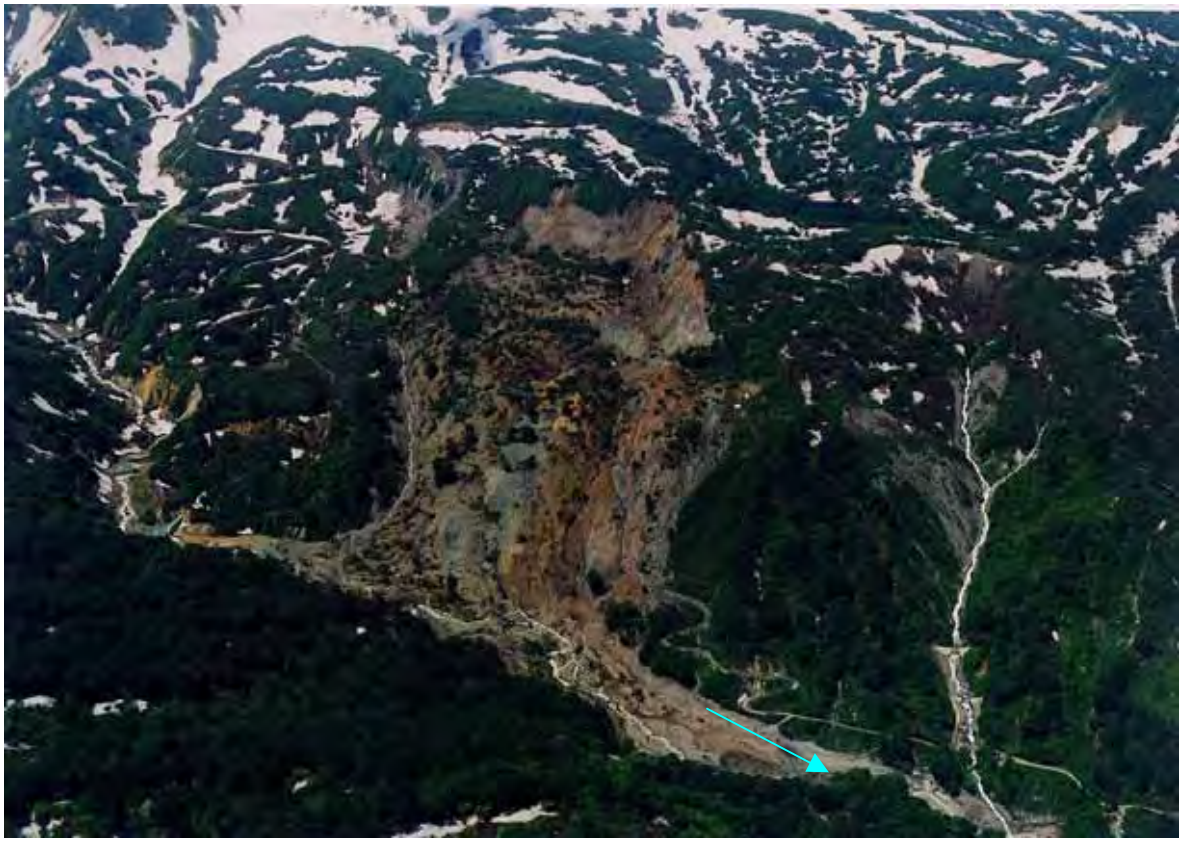




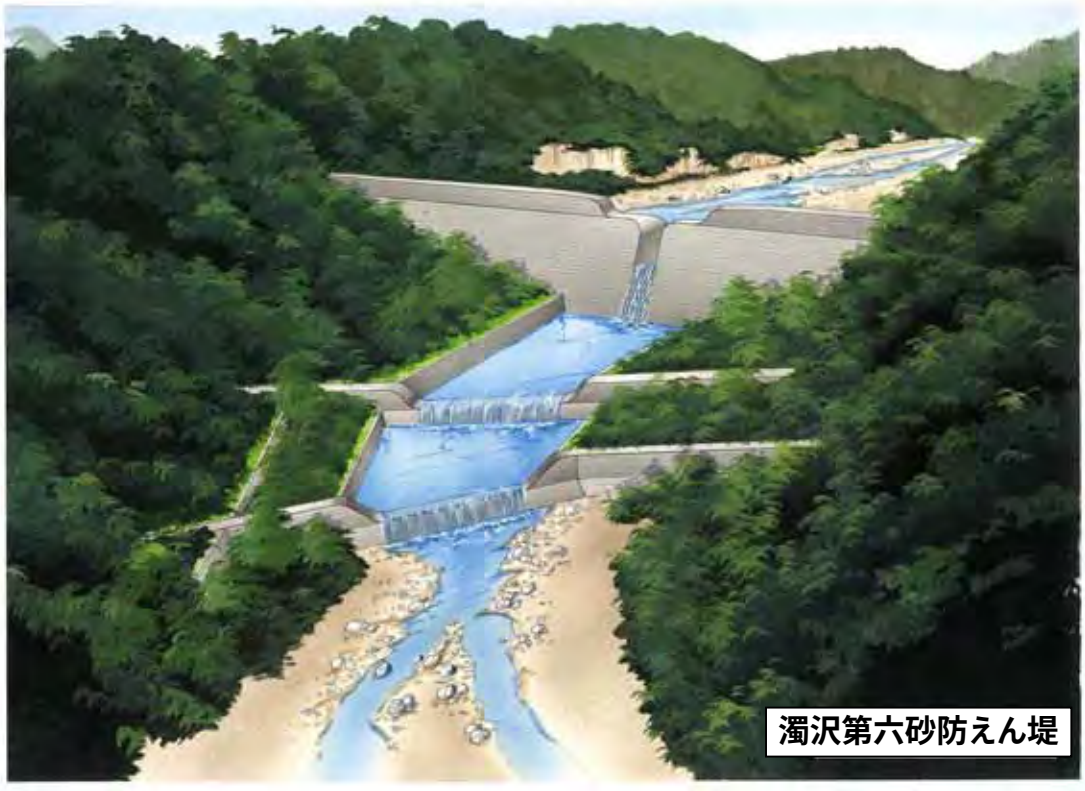
砂防事業　　安全な地域づくり

最上川水系立谷沢川における斜面崩壊状況

（平成5年6月発生　巾500m　長さ700m）



下流における土砂災害を防止し、下流住民の生命･財産を守るため砂防えん堤を実



（庄内町）

砂防事業　　安全な地域づくり

板敷川は上流部渓岸の浸食が激しく、立谷沢川本川への土砂供給が多い渓流となっています。立谷沢川本川に流入する土砂を軽減し、最上川下流部の河床上昇による洪水氾濫による被害を防止するために、砂防えん堤に着手します。（板敷川砂防えん堤）

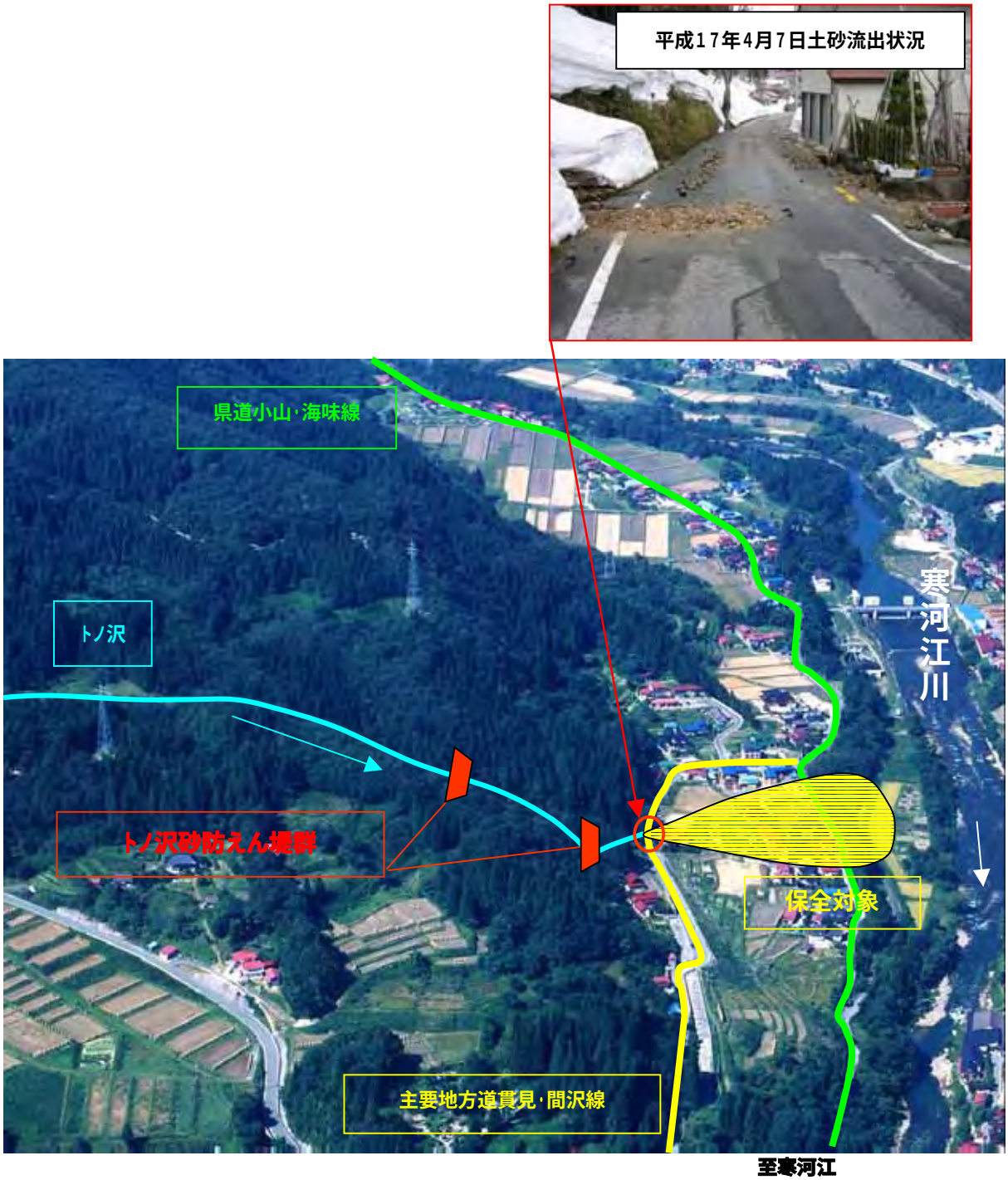




（庄内町）

砂防事業　　安全な地域づくり

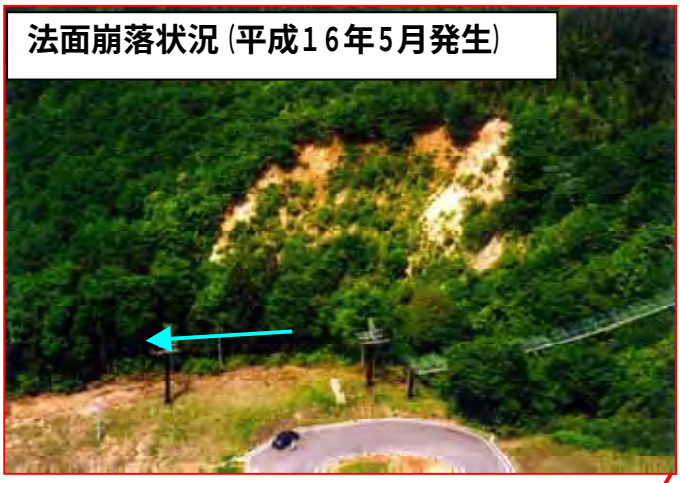
土石流等による土砂災害を防止し下流住民の生命･財産を守るとともに、生活道路である県道小山･海味線、主要地方道貫見･間沢線を保全するため砂防えん堤に着手し、安全な地域づくりに貢献します。（トノ沢砂防えん堤群）



（西川町）

砂防事業　　重要交通網の保全

岩菅沢川の渓岸崩壊による多量の流出土砂を調節し、下流集落や重要交通網である国道１１２号を土砂災害から保全するため砂防えん堤に着手します。（岩菅沢砂防えん堤）





（鶴岡市）

地すべり対策事業　　安全な地域づくり

豊牧地すべり地区においては、横道沢ブロックの地すべりの変状を抑制するため集水井工を実施するほか、地区内の排水路工を実施し、地すべりの安定を図ります。

また、平根地すべり地区においては、北ブロックで水路工を実施し、地すべりの安定を図ります。





集水井内の集水状況